

今後の電気事業の財政見通し（企業局経営計画数値の見直し）

平成30年度当初予算の編成にあたり、平成28年3月に策定した「企業局経営計画」に掲げた財政計画に乖離が生ずることが判明したため、以下を踏まえ見直しを行った。

- ①水力発電所リニューアル事業に係る費用の修正
 - ・除却費用の計上誤り（誤：資本的収支 → 正：収益的収支）
 - ・除却損の計上漏れ
 - ・その他（リニューアル工程変更、減価償却費の精査など）
- ②新規小水力発電事業の反映
- ③隠岐大峯山風力発電所3号機廃止の反映
- ④その他（修繕費等の時点修正）

1. 収益的収支（純利益）

（単位：百万円）

	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
現計画	108	305	△43	△46	1,282	1,637	1,514	1,595	1,489	1,586
見直し	245	413	△681	△525	780	1,808	1,677	1,709	1,543	1,763
増減	137	108	△638	△479	△502	171	163	114	54	177

「見直し」欄のH28は決算、H29は2月補正予算案、H30は当初予算案ベース（以下同様）

【主な影響額】

（単位：百万円）

リニューアル除却費用	△535	△387	0	0	0	0	0	0	0	0
リニューアル除却損	0	△57	△365	0	0	0	0	0	0	0
その他リニューアル関係	121	6	△115	158	151	142	132	126		
その他修繕費等	△231	△21	31	13	16	△18	△84	53		

2. 資本的収支（補てん財源）

（単位：百万円）

	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
現計画	564	639	674	841	1,071	1,073	1,081	922	894	894
見直し	529	497	663	757	1,237	1,148	1,291	1,107	1,048	1,046
増減	△35	△142	△11	△84	166	75	210	185	154	152

3. 内部留保資金

（単位：百万円）

	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
現計画	3,002	3,404	3,438	3,263	4,477	6,189	7,749	9,529	11,211	12,975
見直し	3,363	4,000	3,290	2,697	3,391	5,012	6,344	7,882	9,272	10,854
増減	361	596	△148	△566	△1,086	△1,177	△1,405	△1,647	△1,939	△2,121

4. 経営への影響

○H30～H32の収益的収支（純利益）が悪化するものの、H33以降は経営計画策定時水準の収益が確保できる見込み

○純利益の減及び除却費用等の現金支出の増により内部留保資金が、H31時点で27億円程度まで減少